

平成29年度木津川市一般会計 補正予算第1号について（概要）

総務部財政課

平成29年度補正予算第1号は、府委託事業の実施による施策の充実や重要施策を推進するための予算、また緊急に対応する必要があるものの予算を計上するものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

補正前	296億8,800万0,000円
補正額	2,842万8,000円（0.1%増）
補正後	297億1,642万8,000円

2 予算の内容

【主な歳入】

◎分担金及び負担金

相楽地方通級指導教室事業費負担金 66万0,000円増

◎府支出金

学力向上システム開発校事業費府委託金 21万0,000円

「法やルールに関する教育」研究指定校事業費府委託金
12万7,000円

不登校児童生徒支援モデル事業費府委託金 537万9,000円

◎諸収入

コミュニティ助成事業助成金 400万0,000円

◎市債

社会教育施設改修事業債 870万0,000円

【主な歳出】

◎府委託事業の実施による施策の充実や重要施策の推進

不登校児童生徒支援モデル事業（適応指導教室事業費）
157万9,000円増

学力向上システム開発校事業 21万0,000円

「法やルールに関する教育」研究指定校事業 12万8,000円

相楽地方通級指導教室の増設	1 2 6 万 4 , 0 0 0 円
自治会・自主防災会に対するコミュニティ助成 (企画事務事業費、災害対策事業費)	4 0 0 万 0 , 0 0 0 円
準用河川貝鍋川改修測量・設計委託費 (河川改修事業費)	1 , 0 0 0 万 0 , 0 0 0 円

◎緊急事案対応

マイナンバー記載に配慮した納税通知書発送方法の変更 (課税事務事業費)	2 8 9 万 5 , 0 0 0 円増
中央交流会館空調設備の改修、加茂文化センター駐車場の確保 (社会教育施設管理事業費)	7 5 4 万 4 , 0 0 0 円
中央図書館高圧受電設備修繕 (中央図書館管理事業費)	8 0 万 8 , 0 0 0 円

科					項			目		
所										
事	記載例									
市総合計 (基本計 の位置付け)	当該補正予算において、新たに予算事業名称を作成したものを「新規」とし、それ以外のは「継続」としています。									
事業期間					新規・継続					
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他	一般財源			
補正前										
補正額										
補正後										
補正予算額の 主な内訳	金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、()内に補正後の予算額を記載していますが、予算の用途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を()内に記載しています。									
主な特定財源										
政策を必要とする背景及び提案の経緯	年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。 (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)									
市民参加の状況										
将来にわたる効果等										

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費				
所管	マチオモイ部 学研企画課									
事業	101	企画事務事業費								
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進									
事業期間					新規・継続			継続		
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他	一般財源			
補正前	8,500						8,500			
補正額	2,400					2,400				
補正後	10,900					2,400	8,500			
補正予算額の 主な内訳	コミュニティ事業補助金:2,400千円皆増 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、自治会の備品整備を補助するため、所要の補正を行う。 ※城山台7丁目自治会:2,400千円(テレビ他コミュニティ備品)									
主な特定財源	コミュニティ助成事業助成金:2,400千円									
政策を必要とする背景及び提案の経緯										
市民参加の状況	行政運営における透明性の向上と市民等に対する説明責任を果たし、市民参加型の公平公正で開かれた市政の実現を目指す。									
将来にわたる効果等										

科 目	款	総務費	項	徴税費	目	賦課費
所 管	総務部 税務課					
事 業	441	課税事務事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補正前	66,072					4,987 61,085
補正額	2,895					2,895
補正後	68,967					4,987 63,980
補正予算額の 主な内訳	通信運搬費:2,895千円増(9,797千円) マイナンバーを記載した特別徴収納税通知書の発送を、個人情報保護に一層配慮し、普通郵便から簡易書留に変更したため、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	課税の適正化と公平化を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	河川費	目	河川新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	1821	河川改修事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補正前	66,200				46,500	19,700
補正額	10,000					10,000
補正後	76,200				46,500	10,000 19,700
補正予算額の 主な内訳	測量・設計委託料:10,000千円皆増 京都府による赤田川改修事業に伴い必要となる、準用河川貝鍋川の改修に向けた測量および詳細設計を行うため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	公共施設等整備基金繰入金:10,000千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	河川流域内住民の安全と財産の保全のため、河川改修事業を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	消防費	項	消防費	目	災害対策費
所 管	総務部 危機管理課					
事 業	1941	災害対策事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	17,772			1,500		16,272
補 正 額	1,600				1,600	
補 正 後	19,372			1,500	1,600	16,272
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	コミュニティ事業補助金:1,600千円皆増 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、自主防災会の防災備品整備を補助するため、 所要の補正を行う。 ※瓶原地域自主防災会:1,600千円(テント他防災資機材の整備)					
主 な 特 定 財 源	コミュニティ助成事業助成金:1,600千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	災害時に備え、防災倉庫等の配備を進める。また、自主防災組織の育成と充実を図る。					
市 民 参 加 の 状 況	自主防災組織の育成に努める。					
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2001	適応指導教室事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	12,372					12,372
補 正 額	1,579		5,379			△ 3,800
補 正 後	13,951		5,379			8,572
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	社会保険料:220千円増(1,405千円)、臨時職員賃金:1,359千円増(10,317千円) 文部科学省・京都府教育委員会委託事業「平成29年度いじめ対策・不登校支援等推進事業」実施のため、所要 の補正を行う。 ※適応指導教室指導員1名分(H29. 8. 1~H30. 3. 31)					
主 な 特 定 財 源	不登校児童生徒支援モデル事業費府委託金:5,379千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	相談活動や学習援助のほか、集団生活への社会的適応に向けて自立を促進し、学校生活への復帰を多面的に 支援する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	不登校児童生徒の減少につなげる。					

科 目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3636	学力向上システム開発校事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	210		210			
補正後	210		210			
補正予算額の 主な内訳	講師謝礼:80千円皆増、普通旅費:20千円皆増、消耗品費:90千円皆増、印刷製本費:20千円皆増 相楽台小学校が学力向上システム開発校に、京都府教育委員会の指定(平成29年度～平成30年度)をうけたため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	学力向上システム開発校事業費府委託金:210千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	自校の学力の課題解決並びに京都府教育振興プランに示す教育課題、特に学力課題を克服するための新たな方策(システム)の研究開発に主体的に取り組み、学校の自律性や教職員の意識を高め、児童生徒の学力及び教職員の指導力の向上を図るとともに、その成果の普及に努め、教育の充実と発展に役立てることを目指す。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3665	「法やルールに関する教育」研究指定校事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	128		127			1
補正後	128		127			1
補正予算額の 主な内訳	講師謝礼:42千円皆増、消耗品費:86千円皆増 木津中学校が「法やルールに関する教育」を効果的に広めていくための実践的な研究を実施する指定校に、平成28年度に引き続いて京都府教育委員会の指定をうけたため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	「法やルールに関する教育」研究指定校事業費府委託金:127千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯						
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	相楽地方通級指導教室費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2141	相楽地方通級指導教室事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,600				681	919
補 正 額	1,264				660	604
補 正 後	2,864				1,341	1,523
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	普通旅費:140千円増(390千円)、消耗品費:285千円増(935千円)、通信運搬費:65千円増(318千円)、コピー機リース料:56千円増(63千円)、教材用備品購入費:205千円増(385千円)、学校備品購入費:493千円増(561千円)、児童教育研究会等負担金:20千円増(83千円) 相楽地方の木津川市・精華町・東部広域連合教育委員会で構成する協議会で運営する通級指導教室において、対象児童と相談件数が増加するなか、よりきめ細やかな相談、発達検査体制の構築を目的に、西部教室および東部教室に1クラスずつ増設するため、所要の補正を行う。 ※西部教室増設経費:893千円、東部教室増設経費:211千円、その他増設に伴う経費:160千円					
主 な 特 定 財 源	相楽地方通級指導教室事業費負担金:660千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	言語、聴覚及び発達に障害のある児童を対象に、障害を改善・克服できるように指導や援助を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	3627	施設管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	40,070				26,745	13,325
補 正 額	7,544			8,700		△ 1,156
補 正 後	47,614			8,700	26,745	12,169
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	修繕料:4,968千円増(12,705千円) 中央交流会館空調設備の更新を行う必要が生じたため、所要の補正を行う。 駐車場整備工事費:2,576千円皆増 加茂文化センター利用者駐車場を確保するため、所要の補正を行う。 ※NTT所有地を借用した整備(フェンス設置、進入路切り下げ、区画線等) ※加茂文化センター駐車場の区画線補修					
主 な 特 定 財 源	社会教育施設改修事業債:8,700千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	生涯学習の充実と施設環境の整備を図るため、社会教育施設の管理等を行う。					
市 民 参 加 の 状 況	施設環境の整備を図ることにより、利用者増につながる。					
将 来 に わ た る 効 果 等	施設の維持管理・改修を行うことにより、施設の安全面を確保することができる。					

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2350	中央図書館管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章3 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 生涯にわたる学習機会の充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	22,257		6,500		40	15,717
補 正 額	808					808
補 正 後	23,065		6,500		40	16,525
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	修繕料:808千円増(958千円) 経年劣化した高压受電設備の高压気中開閉器、高压ケーブル等を取り替えるため、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	図書館の管理、修繕等を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						